

愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2017年2週 (1月2週 1/9~1/15)

2016年12月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

連絡先: 052-910-5619 (企画情報部)

今週の内容

トピックス

集団かぜの発生、インフルエンザ、感染性胃腸炎
病原体検出情報

定点医療機関コメント

インフルエンザ、マイコプラズマ感染症、感染性
胃腸炎、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌感染症、
RSウイルス感染症等

全数把握感染症発生状況 ()内は件数。

結核(25)、細菌性赤痢(1)、腸管出血性大腸菌感染症
(1)、レジオネラ症(1)、アメーバ赤痢(2)、カルバ
ペナム耐性腸内細菌科細菌感染症(2)、急性脳炎
(3)、クロイツフェルト・ヤコブ病(1)、侵襲性
肺炎球菌感染症(6)、梅毒(3)

2016年12月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

トピックス

集団かぜの発生(健康対策課発表)

発表日	管轄保健所	ネットあいち URL
1月12日	豊川、新城	集団かぜの発生について(2016-2017シーズン) http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/syuudankaze2.html http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/ichiran.pdf
1月13日	春日井、新城、衣浦東部	
1月16日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、 西尾、江南、新城、知多、清須、衣浦東部	
1月17日	一宮、瀬戸、半田、春日井、豊川、津島、 西尾、江南、新城、知多、衣浦東部	
1月18日	一宮、瀬戸、半田、豊川、江南、清須	

インフルエンザ(図1)【1月11日警報発令】

2週目の定点当たり報告数は24.74、1週目3,558人(2週目4,824人(1.36倍))です。2016/2017シーズンに病原体定点等から寄せられた検体よりA型(AH3、AH1pdm09)及びB型(ビクトリア系統)インフルエンザウイルスが検出されています。

【参考ページ】

“インフルエンザ警報”を発令します!(1月11日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/28influkeihou.html>

豊田市:インフルエンザの流行に注意してください(1月18日発表)

<http://www.city.toyota.aichi.jp/kurashi/kenkou/eisei/1003067.html>

豊橋市:インフルエンザが流行しています(1月4日発表)

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/secure/46867/H28flutyui.pdf>

集団かぜによる学級閉鎖等の状況(名古屋市)

<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/15-7-3-3-11-0-0-0-0-0.html>

保健所別・定点医療機関当たりのインフルエンザ報告数マップ

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/influmapnew.html>

インフルエンザ情報ポータルサイト(愛知県)

<http://www.pref.aichi.jp/kenkotaisaku/influ/index.html>

感染性胃腸炎(図2)【1月18日警報解除】

2週目の定点当たり報告数は4.54、1週目707人(2週目827人(1.17倍))です。

【参考ページ】

“感染性胃腸炎”に注意しましょう!(1月18日発表)

<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/kenkotaisaku/kanssensaiityouen28keiho.html>

疾患別ウイルス検出状況

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/67f/prompt.html>

ノロウイルス等検出速報(国立感染症研究所)

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-noro.html>

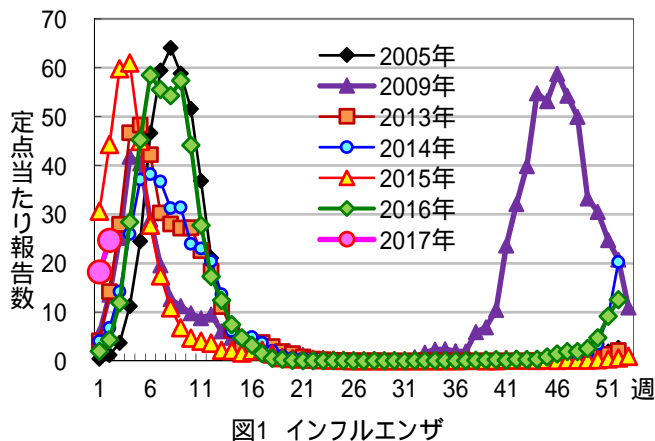


図1 インフルエンザ

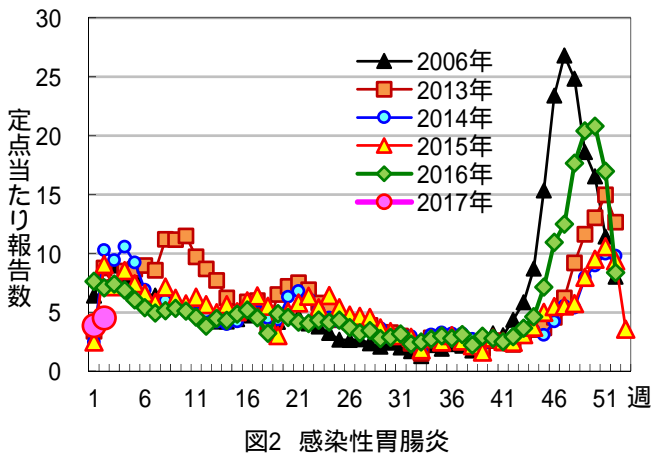


図2 感染性胃腸炎

病原体検出情報 2016年疾患別ウイルス検出速報 (2017年1月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ		** 麻疹・風疹
								2016/2017 シーズン	2015/2016 シーズン	
患者数	326	43	69	19	22	60	19	152	326	16(30)
CV-A2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	(1)
CV-A4	2	1	20	-	-	-	-	-	-	-
CV-A5	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
CV-A6	-	12	5	-	-	1	-	-	-	-
CV-A16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
CV-B1	-	-	4	-	-	1	-	-	-	-
CV-B3	4	1	3	-	-	8	1	-	2	-
CV-B5	7	-	7	-	-	15	-	-	-	-
E-6	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
E-30	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
HPeV-1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-
FluAH1pdm	-	-	-	-	-	-	1	9	93	(2)
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	51	11	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	4	51	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	1	-	99	(1)
MuV	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
MeV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(3)
RUBV	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1(3)
Rota A G1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G2	23	-	-	-	-	-	1	-	-	-
Rota A G3	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Rota A G9	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GI	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
NV GII	142	1	1	-	-	4	3	-	-	-
SV	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
AstV	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-
Ad-2	3	-	-	3	-	1	1	1	1	-
Ad-3	5	-	1	11	1	-	-	-	-	(1)
Ad-4	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-5	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-8	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-19	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
Ad-41	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-54	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-
B19V	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3(2)
検査中	62	13	1	1	1	3	1	81	0	1(2)
陰性	66	13	25	2	16	16	11	5	68	10(15)

*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)及び2015/2016シーズンの結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略:ウイルス名

Ad: アデノウイルス、AstV: アストロウイルス、B19V: ヒトパルボウイルスB19、

CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、E: エコーウイルス、FluAH1pdm: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、HPeV: ヒトパレコウイルス、HRV: ヒトライノウイルス、MeV: 麻疹ウイルス、

MuV: ムンプスウイルス、NV: ノロウイルス、Rota A: ロタウイルスA、RUBV: 風疹ウイルス、SV: サボウイルス

病原体検出情報 2017年疾患別ウイルス検出速報 (2017年1月15日現在)

	感染性胃腸炎	手足口病	ヘルパンギーナ	咽頭結膜熱	流行性角結膜炎	無菌性髄膜炎	脳炎・脳症	* インフルエンザ	* 麻疹・風疹
								2016/2017 シーズン	
患者数	0	1	0	1	0	0	1	152	0(0)
CV-A9	-	-	-	-	-	-	-	-	-
CV-B3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
HRV	-	-	-	-	-	-	-	1	-
FluAH1pdm09	-	-	-	-	-	-	-	9	-
FluAH3	-	-	-	-	-	-	-	51	-
FluB(Vic)	-	-	-	-	-	-	-	4	-
FluB(山形)	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Ad-2	-	-	-	-	-	-	-	1	-
検査中	0	1	0	1	0	0	1	81	0(0)
陰性	0	0	0	0	0	0	0	5	0(0)

*インフルエンザは2016/2017シーズン(2016年9月～)の結果

**麻疹・風疹の()内は病原体定点医療機関外からの患者数の別掲

略: ウイルス名

Ad: アデノウイルス、CV: コクサッキーウイルス(Cox.)、FluAH1pdm09: インフルエンザウイルスAH1pdm2009、

FluAH3: A香港型インフルエンザウイルス、FluB(Vic): B型インフルエンザウイルス(ビクトリア系統)、

FluB(山形): 同(山形系統)、HRV: ヒトライノウイルス

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

- インフルエンザはすべてA型
【一宮市 あさのこどもクリニック】
インフルエンザA型 7名
感染性胃腸炎も流行
【一宮市 後藤小児科医院】
インフルエンザA型 3名
【稲沢市 愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院】
インフルエンザA型 10名
【稲沢市 こどものお医者さんおがわクリニック】
インフルエンザ 14名(すべてA型)
溶連菌感染症 7名
【江南市 みやぐちこどもクリニック】
A型 インフルエンザ 26例
B型 インフルエンザ 1例
溶連菌、手足口病散発
マイコプラズマ肺炎 3例
【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
インフルエンザが増えてきました。
A 34件 B 1件
【扶桑町 医療法人 tsukushi つくしこどもクリニック】
インフルエンザA 27名
インフルエンザB 1名
【北名古屋市 田中クリニック】
19歳男 カンピロバクター及び病原大腸菌O1 検出
81歳男 病原大腸菌O146 検出
インフルエンザ 16人(A型)
【清須市 丹羽医院】
インフルエンザA型 29名
インフルエンザB型 1名
【津島市 医療法人参育会加藤医院】
A型インフルエンザ 33名
【あま市 医療法人村上医院】

尾張東部地区

- インフルエンザ 7名(A型 5名、B型 2名)
その他溶連菌、流行性耳下腺炎
アデノウイルス感染症
手足口病が1例ありました。
【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
インフルエンザA型 6例
インフルエンザB型 0例
【長久手市 医療法人水野内科】
fluAは多いです。
ワクチン未接種患者で脳症が出ています。
ベビーのRSVはまだ多いです。
【春日井市 春日井市民病院】
7歳女 マイコプラズマ
インフルAのみ19例
【春日井市 朝宮こどもクリニック】
インフルエンザ 男7名 女6名
【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
インフルエンザはすべてA型です。
【小牧市 志水こどもクリニック】
A型インフルエンザ 15名
【半田市 医療法人林医院】
A型インフルエンザ 29名 成人に多い。
【南知多町 医療法人大岩医院】
A型 インフルエンザ 11名
【半田市 ひいらぎこどもクリニック】
インフルエンザA型 16名
4歳女 12歳男 マイコプラズマ
1歳女 RSウイルス
【大府市 まえはらこどもクリニック】
6歳から86歳まで全てインフルエンザA型で
33名です。
【東海市 こいで内科医院】
インフルエンザが増えてきました、全員A型です。
アデノウイルス感染症 5名(1~6歳)
【東海市 もしもしこどもクリニック】

西三河地区

インフルエンザA(+) 9名
E.coli(O15) 1歳男
【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】
インフルエンザB型 1名 12歳男
【豊田市 岩瀬小児科】
インフルエンザA型 15名
マイコプラズマ 4歳男
【豊田市 すくすくこどもクリニック】
インフルエンザ陽性A型 18名
【豊田市 愛知県厚生農業協同組合連合会足助病院】
インフルエンザA 14名 B 1名
マイコプラズマ 2名
アデノ 1歳男
病原性大腸菌O1(+)VT(-) 8歳男
【岡崎市 にいのみ小児科】
インフルエンザ 20歳 成人式後に発症 7名
【岡崎市 村山医院】
マイコプラズマ 6歳女
インフルエンザ 27例 全てA型です。
RSウイルスは5例 0~1歳に多い。
【岡崎市 花田こどもクリニック】
マイコプラズマ肺炎 8歳女 10歳男
インフルエンザA型 45名 B型 1名
【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】
インフルエンザA型 13名
【岡崎市 医療法人永坂内科医院】

インフルエンザ合計 25名 全てA型
【岡崎市 粟屋医院】
インフルエンザ 全てA型
【岡崎市 医療法人糸洲医院ともキッズクリニック】
インフルエンザA型 13名
【岡崎市 医療法人志貴こどもクリニック】
インフルエンザウイルス感染症に罹患した
児が急に増えました。全てA型です。
【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】
インフルエンザA型 55名
【知立市 宮谷クリニック】
インフルエンザA型 123名 B型 1名
【安城市 愛知県厚生農業協同組合連合会安城更生病院】
インフルエンザはすべてA型
【刈谷市 田和小児科医院】
A型インフルエンザ 1名
【安城市 医療法人鳥居医院】
A型インフルエンザ増加傾向
【碧南市 永井小児クリニック】
インフルエンザA型 33名
【西尾市 西尾市民病院】
インフルエンザ増加 全てA型(33名)
【西尾市 山岸クリニック】

東三河地区

インフルエンザA型が増えてきました。
【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】
インフルエンザA型 30名
【豊橋市 医療法人山本内科】
インフルエンザA型 25名
【豊橋市 医療法人杉浦内科】
インフルエンザA型 8名
【豊橋市 おだかの医院】
インフルエンザA型 85名 B型 1名(8歳男)
計 86名
【豊橋市 医療法人羽柴クリニック】

インフルエンザA型 43名
【豊川市 豊川市民病院】
インフルエンザA型 28名
【豊川市 ささき小児科】
病原性大腸菌O6 1名
マイコプラズマ肺炎 3名
アデノウイルス 1名
インフルエンザA型 23名
【蒲郡市 畑川クリニック】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2017年1月18日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun161121.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2017年2週報告数			2017年総計(1～2週)		
	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体 保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査 陽性者数再掲	無症状病原体保 有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	12	2	4	15	2	4
豊田市						
豊橋市	1			2	1	
岡崎市						
一宮	4	2		10	5	3
瀬戸	2		1	4	1	1
半田	1		1	1		1
春日井	2	1		3	1	1
豊川	1	1		2	1	
津島	2	1		2	1	
西尾						
江南						
新城						
知多						
清須						
衣浦東部				1	1	
合計	25	7	6	40	13	10

細菌性赤痢（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	推定感染地域
1	豊田市	30歳	男	1/4	1/6	1/10	スリランカ、大韓民国

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	豊川	12歳	女	1/3	1/4	1/11	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	津島	57歳	男	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	58歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内
2	岡崎市	51歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染経路	推定感染地域	90日以内の海外渡航歴
1	名古屋市	34歳	女	不明	国内	無
2	知多	95歳	女	以前からの保菌	国内	無

急性脳炎（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	4歳	男	病原体不明	国内
2	瀬戸	5歳	女	病原体不明	国内
3	知多	5歳	男	インフルエンザウイルスA	国内

クロイツフェルト・ヤコブ病（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型
1	名古屋市	76歳	男	家族性

侵襲性肺炎球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	予防接種歴	推定感染地域
1	名古屋市	75歳	女	無	国内
2	豊田市	77歳	女	無	国内
3	岡崎市	79歳	男	不明	国内
4	一宮	65歳	男	無	国内
5	江南	85歳	女	不明	国内
6	江南	55歳	女	無	国内

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	45歳	女	無症候	不明	国内
2	津島	23歳	女	早期顕症	性的接触	国内
3	江南	63歳	男	早期顕症	性的接触	国内

12月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔()は無症状病原体保有者再掲〕

2015～2016年に報告のあった 疾病名及び病型 ()内は全数把握対象疾病数		2016年12月			2016年	2015年	
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体	総計 <愛知県全体>	総計 <愛知県全体>	
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0	
二類 (7)	結核	79 (20)	41 (6)	120 (26)	1,736 (444)	1,683 (463)	
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	9 (2)	6 (1)	
	腸管出血性大腸菌感染症	3 (1)	4 (2)	7 (3)	160 (53)	98 (21)	
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	12 (2)	2 (0)	
四類 (44)	E型肝炎	0	0	0	5	8	
	A型肝炎	0	0	0	5	10	
	オウム病	0	0	0	1	0	
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	1	
	ジカウイルス感染症*	0	0	0	2	-	
	チクングニア熱	0	0	0	3	0	
	つつが虫病	1	0	1	3	2	
	デング熱	1	0	1	20	17	
	日本紅斑熱	0	0	0	1	0	
	マラリア	0	0	0	1	1	
	ライム病	0	0	0	0	1	
	レジオネラ症	6	0	6	96	99	
	五類 (22)	アメーバ赤痢	7	2	9	68	66
		ウイルス性肝炎	0	0	0	5	15
内訳		B型	0	0	0	4	10
		その他	0	0	0	1	5
カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感染症		3	1	4	75	80	
急性脳炎		2	0	2	39	27	
クリプトスポリジウム症		0	0	0	0	1	
クロイツフェルト・ヤコブ病		0	0	0	12	8	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		2	0	2	26	16	
後天性免疫不全症候群		0	4	4	99	107	
内訳		無症候性キャリア	0	3	3	64	60
		AIDS	0	1	1	32	43
		その他	0	0	0	3	4
ジアルジア症		0	0	0	1	4	
侵襲性インフルエンザ菌感染症		2	1	3	25	15	
侵襲性髄膜炎菌感染症		0	0	0	6	0	
侵襲性肺炎球菌感染症		12	2	14	156	161	
水痘(入院例に限る。)		1	3	4	14	17	
梅毒		6	11	17	256	122	
内訳		無症候	2	5	7	67	43
		早期顕症	3	6	9	180	71
		晩期顕症	1	0	1	9	7
		先天梅毒	0	0	0	0	1
播種性クリプトコックス症		0	0	0	11	10	
破傷風		0	0	0	5	8	
風しん		0	0	0	20	13	
麻しん		0	0	0	5	0	
薬剤耐性 アシネトバクター感染症	0	0	0	2	0		
総 計		125	69	194	2,880	2,598	

* 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

疾病名	2016年12月			2016年 総計		2015年 総計		
	愛知県 <名古屋市除く>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県全体	愛知県全体	合計	合計	
				合計				
性感染症 定点	性器クラミジア感染症	男	20	41	61	905	855	1,501
		女	27	18	45	650	646	
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	8	5	13	231	224	601
		女	21	16	37	402	377	
尖圭コンジローマ	男	7	9	16	207	217	328	
	女	4	1	5	106	111		
淋菌感染症	男	11	21	32	483	489	565	
	女	4	0	4	71	76		
基幹 定点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		79	12	91	957	1,006	
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		10	3	13	102	92	
	薬剤耐性緑膿菌感染症		0	0	0	0	1	

感染症の類型及び定義(感染症法)

2016年11月21日現在

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症* (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症** (44疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (47疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

* 2015年1月21日に「中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)」及び「鳥インフルエンザ(H7N9)」が二類感染症に追加されました。

** 2016年2月15日に「ジカウイルス感染症」が四類感染症に追加されました。

グラフ総覧

2017年2週(1月9日～1月15日)

愛知県(名古屋市データ含む)の1999年13週から2017年2週までの定点当たり報告数のうち、
本年を含む過去5年間及び特徴的に推移した年についてグラフ化したものです。

*各疾病のグラフを個別に利用される場合は、衛生研究所ウェブサイトからExcelファイルをダウンロードしてください。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.zip> *ExcelファイルはZIP圧縮してありますので適当な場所に解凍後ご利用ください。

